

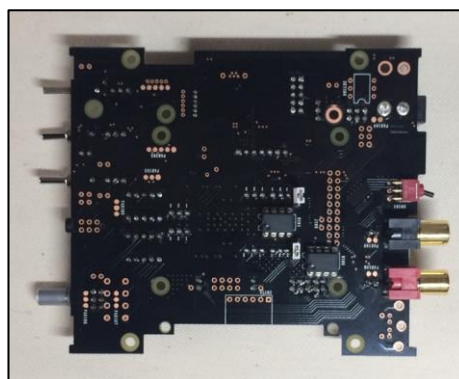
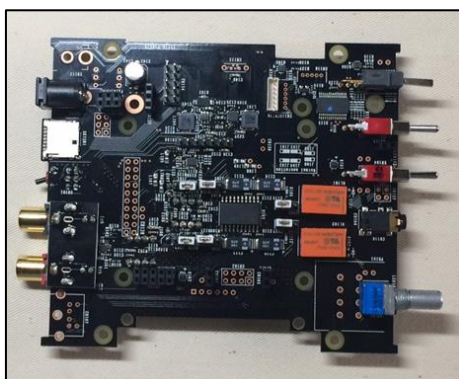
---

# Terra-Berry HPA

## 組立説明書

2018.10.21  
第 1.6 版

この度はTerra-Berry HPA をご購入いただき誠に有難うございます。  
この説明書を良くお読みいただき丁寧に作業してください。



オプションは、お使いにならなくても動作します。

組立が難しいお客様は組立サービスをご利用下さい。  
詳しい内容はお買い求めの販売店にお問い合わせください。

# 最初に準備するもの

下の写真の部材が揃っているか確認してください。

※Raspberry Piはお客様の方でご準備下さい。

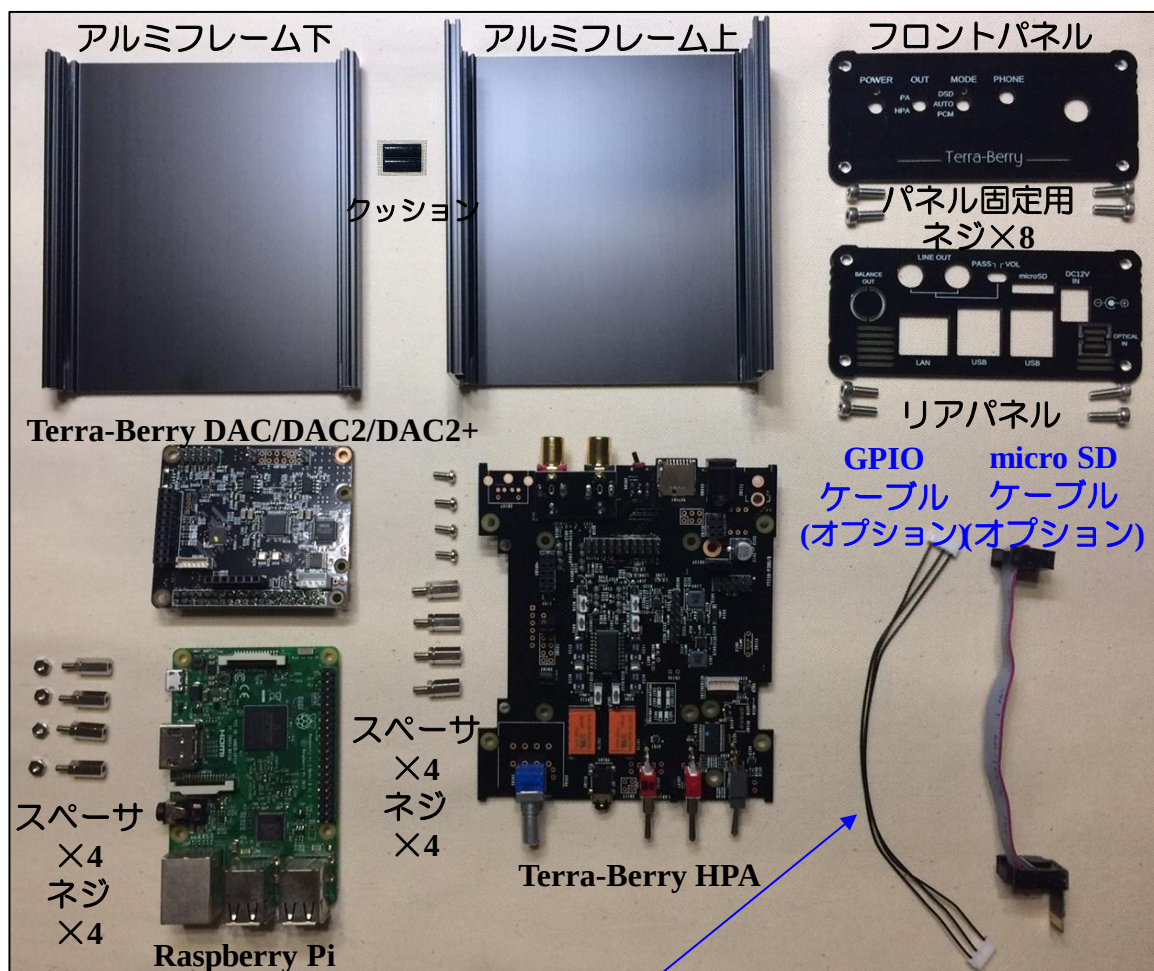
- アルミフレーム上 ×1
- アルミフレーム下 ×1
- クッション ×2 (ケースに付属)
- フロントパネル ×1
- リアパネル ×1

- Terra-Berry DAC/DAC2/DAC2+ (特に断りがない限り**DAC基板**と呼びます)(別売)

- Terra-Berry HPA (特に断りがない限り**HPA基板**と呼びます)

- Raspberry Pi (お客様)
- GPIOケーブル(オプション)
- micro SDケーブル(オプション)
- 組立説明書(本書)

- パネル固定用ネジ ×8
- HPA固定用スペーサ・ネジ 各×4
- Rpi/Terra-Berry DAC 固定用スペーサ・ネジ 各×4



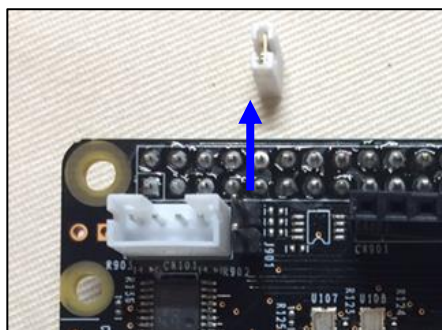
オプションの GPIO をご使用頂けるのは「**Terra-Berry DAC2+**」のみです。

## [ご注意] 組立前のお願い!

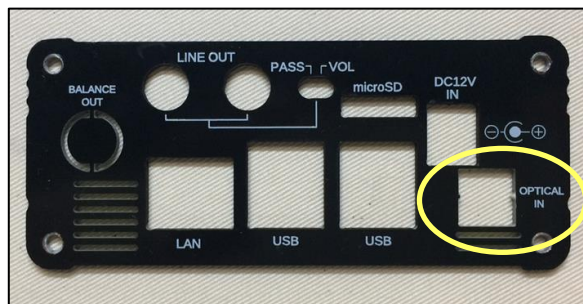
1. DAC基板の「電源ショートピン」はHPA基板に装着する時は、必ず取り外し  
てください。取り外さないで**基板が破壊する恐れ**があります。



必ず取り外してください



2. オプションの GPIO をご使用頂けるのは「Terra-Berry DAC2+」の  
みです。Terra-Berry DAC/DAC2 ではご使用になれません。
3. オプションの「光デジタル入力(SPDIF)基板キット」をご購入のお客様は  
リアパネルの光デジタルコネクタ開口部をニッパ等で丁寧に切り取ってください。  
切り取った端面のバリをヤスリ等で平らにしてください。



光デジタルコネクタ開口部

# 「ケーブルキット」コネクタ実装方法

(オプションを購入されたお客様)

コネクタ実装済みの「Terra-Berry DAC/DAC2/DAC2+」も販売しています。  
販売店にお問合せ下さい。

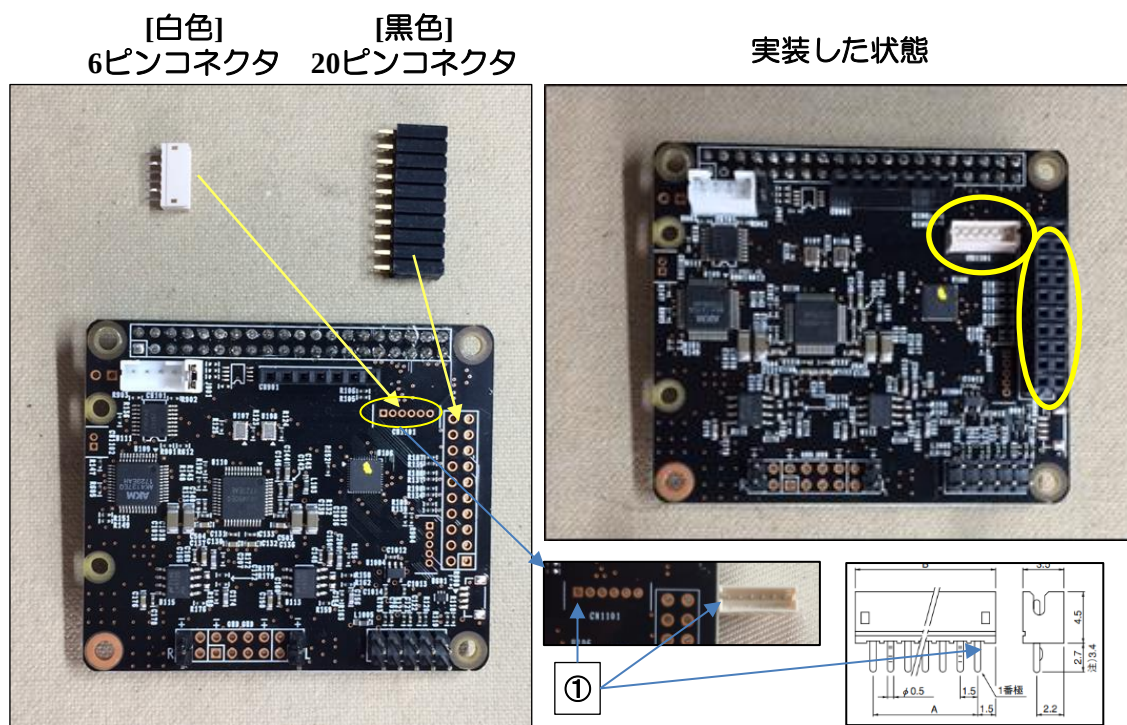
すでに「Terra-Berry DAC/DAC2/DAC2+」をご購入のお客様で オプションの「GPIOケーブル」と「光デジタル基板」をご購入のお客様は DAC基板にコネクタをはんだ付けして頂く必要があります。下記の写真をご参照頂き基板に丁寧にはんだ付けしてください。

## ① 白色の6ピンコネクタ (GPIO用)

**[ご注意!]** GPIOケーブルをご使用頂けるのは「Terra-Berry DAC2+」のみです。

下の写真をご参照頂き、1番ピンの方向を間違わずにはんだ付けしてください。

## ② 黒色の20ピンコネクタ (SPDIF用)



方向を間違えると動作しませんので、よくご確認ください。

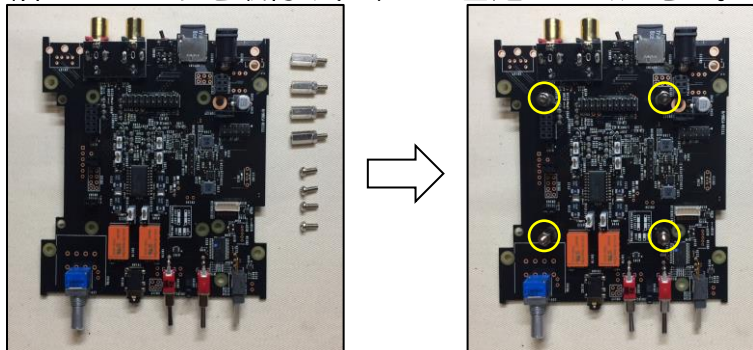
### [ご注意]

6ピンの白色コネクタはピンピッチが狭いコネクタですので、細いコテ先の半田ごてで、0.6mm程度の細い半田を使って作業してください。ピン間ショートする可能性がありますので、十分にご注意ください。コネクタは方向がありますので、1番ピンを間違わずに取り付けて下さい。

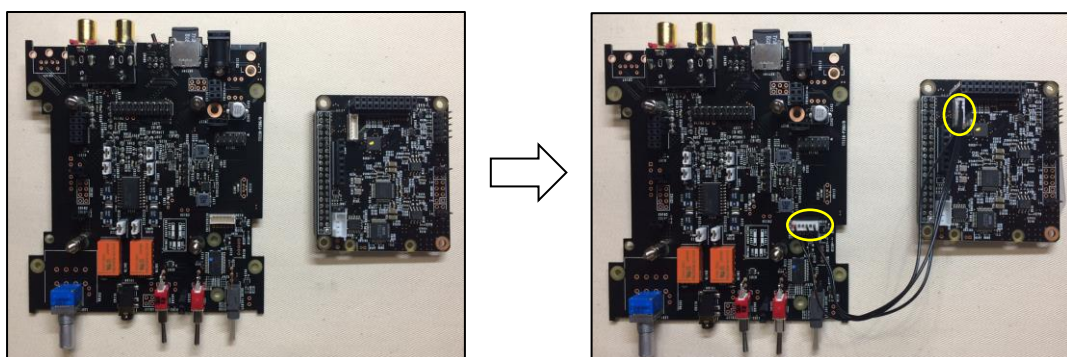
# HPA基板と DAC基板 の組立

下の順序でHPA基板と DAC基板 を組立てて下さい。

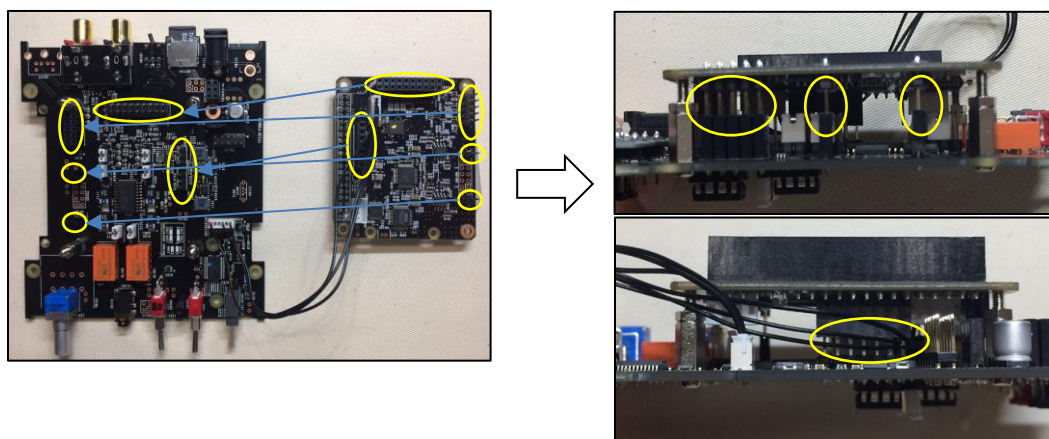
- HPA基板の4か所にスペーサを取付け、ネジで固定してください。



- HPA基板とTerra-Berry DAC2+を準備して、オプションのGPIOケーブル(Terra-Berry DAC2+のみ)を先に取り付けてください。Terra-Berry DAC/DAC2はご使用頂けません。



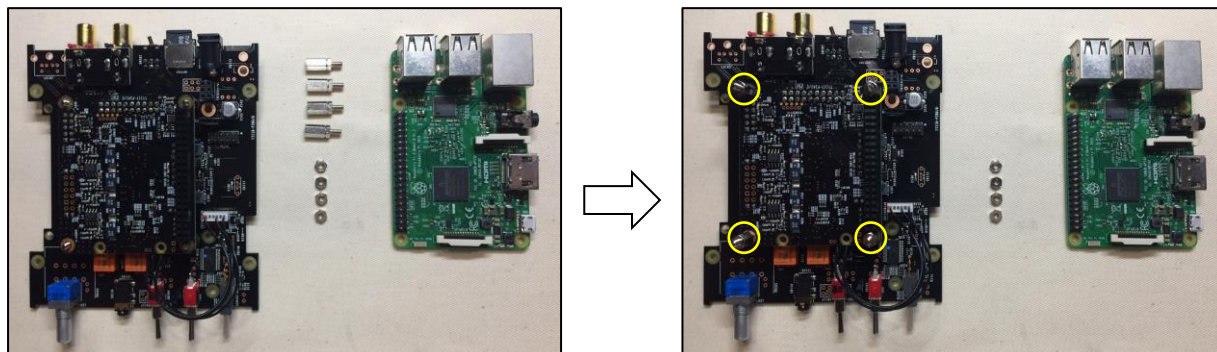
- HPA基板とDAC基板を準備して、HPA基板に注意深く装着します。下記の写真を参考にして5個所のコネクタを挿入してください。



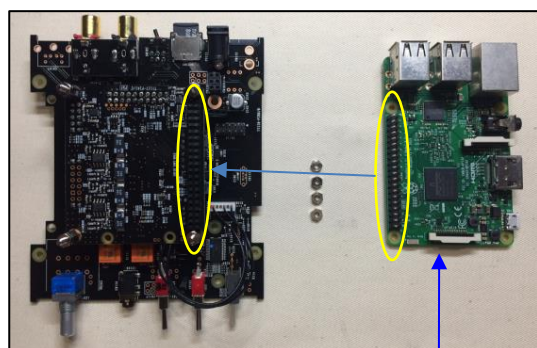
# Raspberry Pi の取付

次にRaspberry Pi を 取付けます。

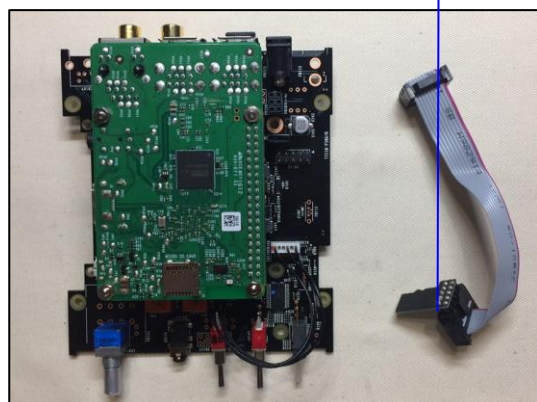
- HPA基板に取り付けたDAC基板の4か所にスペーサを取付け、固定してください。



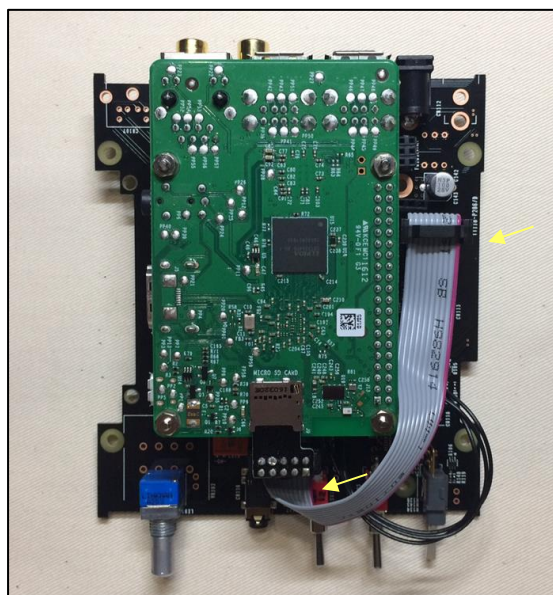
- Raspberry Piの40ピンのコネクタとDAC基板の40ピンのコネクタを合わせて装着し、ナットで4箇所を固定します。



↓  
micro SDケーブルは先に  
Raspberry Piに取り付け  
てからの方が作業がやり  
やすいかも知れません。



- 最後にオプションのmicro SDケー  
ブルをお持ちのお客様は写真のよ  
うに装着してください。フラット  
ケーブルの赤いマークを黄色の矢  
印に合わせて下さい。
- これで完成です。



**[ご注意!]**

micro SDケーブルを装着する時は、特にRaspberry Pi側がしっかりと挿入されているかをご確認ください。左右にずれていたりすると起動しないことがあります。

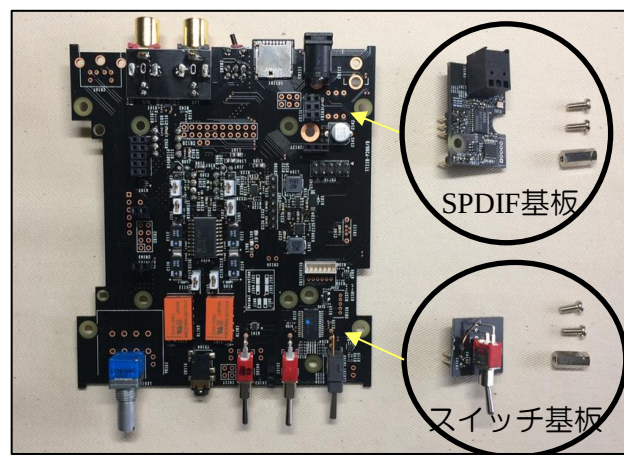
# 光デジタル入力(SPDIF)基板キット(オプション)

光デジタル(SPDIF)出力付きの機器と接続してTerra-Berry DAC2+の高音質を楽しむことができます。

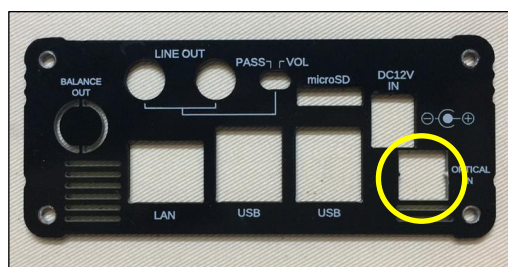
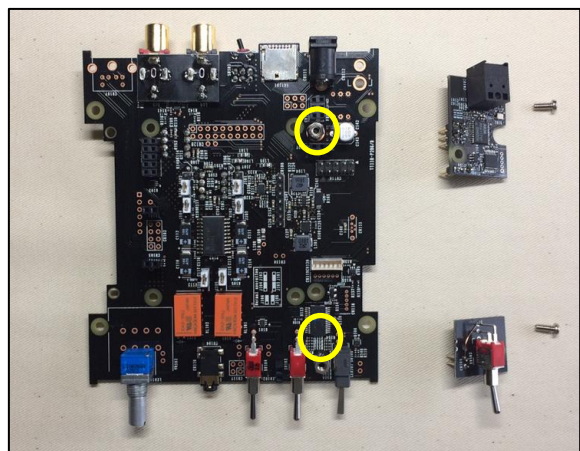
- 光デジタル入力は、
- PCM 32KHz～192KHz まで対応。
  - DSDは非対応です。

別途ケーブルキット(オプション)の黒色の20ピンコネクタ(SPDIF用)が必要です。

| 光デジタル入力(SPDIF)基板キット に含まれるもの |    |
|-----------------------------|----|
| SPDIF基板                     | 1個 |
| スイッチ基板                      | 1個 |
| SPDIF専用フロントパネル(ガラスエポキシ)     | 1個 |
| スペーサ                        | 2個 |
| ネジ                          | 4個 |



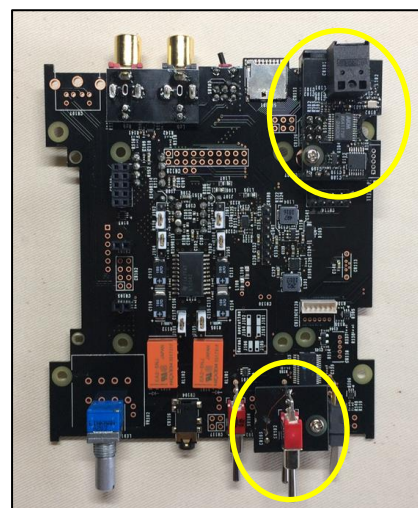
HPA基板に2箇所スペーサを取付けます。



リアパネルは共通です。ニッパ等で開口部を切り取ってください。



フロントパネルは光デジタル入力(SPDIF)専用です。



SPDIF基板とスイッチ基板のコネクタをHPA基板に合わせて挿入し、ネジで固定して完成です。

# microSDケーブル(オプション)の装着方法

microSDケーブルを使うと、ケースの外からmicroSDカードの交換ができます。  
いろいろなソフトを入れ替えてお楽しみください。

## [ご注意!]

micro SDケーブルを装着する時は、特にRaspberry Pi側がしっかりと挿入されているかをご確認ください。左右にずれていたりすると起動しないことがあります。

